

私達は日々、身と語（口）と意とで生活しています。心に思い、言葉と体で表現しています。この三つを「三業」といいます。心と口、心と行動、口と行動さらに心と言葉と行動を一致させることは大変なことです。が、信用につながることです。より正確に、より正直にと思うのですが、逆に「心に思っても、口に出さなければ良い」、「口に出しても、行動に移さなければ良い」とか、「本音と建前」・「裏腹」^ほ「褒め殺し」・「記憶にございませぬ」「言動の不一致」等、醜いことが多いようです。醜いことは心に思っても良くないのです。耳を澄まして虫の音色に聞き入るように、心を澄ましてより正確な意を知るように勤めたいものです。